

第20号

大住社福協だより

平成19年3月1日発行 秋田市大住地区社会福祉協議会



住みよい豊かな会員制度



大住地区社会福祉協議会

会長 梅 邑 供 治

昨年とは違い雪のない冬を過ごしておりますが、大住地区の皆様にはご健勝のこととお喜び申し上げます。

平成十八年度は子ども達が犠牲になる事件の多い年でありました。このような悲しい事故は二度とあってはならないことでもあります。

さて、大住地区社会福祉協議会も平成十八年度事業であります敬老会を始め一人暮らし高齢者のふれあい集会、大住小学校との福祉懇談会、赤い羽根共同募金、歳末助け合いなど計画どおりを実施する事ができました。

また、新たな企画としてコミセン祭りでの福祉車両の展示会も行うことができました。

各事業を順調に行うことができましたのは、地域の皆様、各町内会長また、民生・児童委員、各種団体関係者の皆様方の力強いご支援、ご協力のおかげと心より深く感謝申し上げます。

社会福祉の仕事はコミュニケーションづくりと深く結びついていると思っています。コミュニティに関わるものとしては「防犯」「防災」「学校」「子育て」「見守り」等、多岐にわたっております。例えば、高齢者の見守りなどは地域の近隣の皆様が日常的に「できる範囲で」「それとなく」

「自然体で」ほんのちよっと手助けすることによって、高齢者が安全で暮らしやすい地域が実現しているのです。

秋田市社会福祉協議会には会員制度というものがございます。この制度は地域の皆様が公平に福祉サービスを受けるための負担をお願いしているものです。

大住地区では対象戸数が約四、一〇〇戸ありますが、加入戸数は一、八七五戸と非常に低い加入率となっております。これから高齢化社会に向かい、地域の力を集結してより住みよい大住をつくり上げるためには、ぜひ、この制度についてのご理解を賜り多くの皆様からのご加入をお願いいたします。

私は「福祉とは世直し地域づくり」からと考えておりますので、この思いを実現するために地域の皆様のご支援、ご協力が不可欠であります。

大住に住んで良かったと思える、住みよい大住をつくるために皆様が積極的に社会福祉活動に参加してくださるようお願いいたします。

最後になりましたが、地域の皆様にとってすばらしい一年となりますよう心からお祈り申し上げます。

第二十二回敬老会、盛大に挙行

社福協事務局長 田口 忠稔

今年度の大住地区敬老会は平成十八年九月十八日（敬老の日）、大住地区コミュニティセンターにおいて開催されました。

今年度から秋田市役所の指導で、敬老会の対象年齢が満年齢で七十五歳以上となり、地区全体で七四二名の方が対象となり、その内百五十七名の方が出席されました。秋田市役所の代表として収入役の佐々木敏雄様、国會議員、県市會議員、多数の町内会長、地域の関係団体の長の皆様が来賓としてご出席し、お祝いしてくださいました。

敬老会は、式典と祝賀会に分かれ、式典のはじめに大住地区社会福祉協議会会長の梅邑供治がお祝いの言葉を述べ、続いて来賓代表秋田市収入役佐々木敏雄様のご祝辞、祝電披露ののち、出席者を代表して仁井田露見町の佐藤大二郎様から謝辞を頂戴しました。

次いで祝宴に移り、大住学区振興会会長の上村政憲様のご発声による乾杯が続いて、秋田太陽幼稚園の園児の皆さん、大住小学校の児童の皆さんのお遊戯が演じられ、お年寄りの皆様は童心に帰って会場一杯笑顔と笑い声に満ち溢れておりました。

その後のど自慢の方々によるカラオケ、来賓の皆様との交流、お酒やビールが入って時間の過ぎるのを忘れて、午後四時の「しめ」まで大勢のお年寄りが帰らずに楽しんでくださいました。

敬老会対象人数は、これまで毎年前年度に比べて約一割増しで推移してきましたが、対象年齢が昨年度までの呼び年齢から今年度満年齢に変更となったため、逆に四十名ほど減少しました。しかし、切り替えが終わる来年度は今年度と比べて一割増しになるものと考えられます。国も地方も地域も高齢者が増えていくことを前提に、社会福祉を考えていかなければならぬと思います。私達一人ひとりも身近な地域福祉・地域活動に多少なりとも参画しみんなで地

域を盛り上げていく必要があります。そうです。

当日会場の設営にご尽力いただいた大住学区体育協会の皆様、送り迎えにご協力いただいた町内会の皆様、お年寄りのお世話をしていたいただいた民生児童委員の皆様、厨房で杯、コップ、お酒等の準備をいただいた日赤奉仕団の皆様、コミセン周りの交通整理に当たられた交通安全協会の皆様等地域内の大勢の団体を、人々のご協力で今年度の敬老会を盛大に挙行し、終了することが出来ました。皆様大変ありがとうございました。



年度別敬老会対象者数の推移

区分	対象者数 (人)			率 (%)	
	男	女	計	男	女
昭和61	90	109	199	45.2	54.8
平成 1	84	116	200	42.0	58.0
4	109	148	257	42.4	57.6
7	133	213	346	38.6	61.4
8	147	231	378	38.9	61.1
9	154	244	398	38.7	61.3
10	174	269	443	39.3	60.7
11	184	306	490	37.6	62.4
12	201	334	535	37.6	62.4
13	217	351	568	38.2	61.8
14	237	378	615	38.5	61.5
15	265	399	664	39.9	60.1
16	294	416	710	41.4	58.6
17	311	433	744	41.8	58.2
18	298	444	742	40.2	59.8

平成18年度 敬老会対象者数

区分	対象者数 (人)			率 (%)		
	男	女	計	男	女	
敬老会対象者数	298	444	742	40.2	59.8	
年齢階層別	75歳~	169	213	382	44.2	55.8
	79歳					
	80歳	129	231	360	35.8	64.2
以上						
傘寿	19	29	49	38.8	59.2	

ふれあい集会

常任理事

小松 友子

平成十八年十一月七日。今年度は一回だけとなった、一人暮らし高齢者を対象とした、「ふれあい集会」が、大仙市神宮寺の「獄の湯」で開かれました。途中、県立農業科学館を見学。あいにくの雨になり足元が悪く、バスの乗り降りが大変でしたが、館内は暖かく、色々な展示物を見る事ができました。バスにもどり獄の湯へ。大広間で会食をしながら、歌や踊りが飛



(参加者四十七名)

び出したり、ゆつくりと湯に入ったり、楽しい時間を過ごしました。今回初めて参加したという方から、「すぐ近所にいても知らずにいた人と色々話しながら、本当に良かったです。」という言葉を頂きました。社会福祉協議会の活動の中で、「ありがとう。」「良かった。」という言葉を頂く度に、私達も何かの役に立てたのだと、心が暖かくなる思いです。今後この輪が、地域の中にも繋がっていくように——と、思っております。

松葉会（老人クラブ）の活動

会長

原田 昌一

昭和三十八年頃からポツポツと建ち始めた家のお母さん達が、お茶飲み話から仲間作りをしようと設立されたのが同五十二年。以来時代の変遷、盛衰もあり現在も続けられている活動としては、清掃奉仕、資源化物集団回収、三世交代交流会へ参加、例会（血圧測定、外部講師の健康講話、交通安全教室）、旅行会、松葉会独自の敬老会・新年会等や愛好者による囲碁

「安全パトロール隊」のおかげにて

安全パトロール隊事務局

大住小学校教頭 大門 幸子

昨年発足した「大住小安全パトロール隊」、現在二二六名の皆様が登録してくださっております。パトロールは各町内単位で実施されており、週一〜二回から毎日と町内によつて回数は様々です。でも、太陽がじりじりと照りつける暑い日でも、大粒の雨が雨音を立てて降りしきる日でも、凍てつくような冷たい北風の吹く日でも、通学路のあちこちで子どもたちを見守る多くの黄色いベストが目飛び込

会・グラウンドゴルフ大会（春秋）と週一回の練習（公式会場で）、いきいき健康踊り・歌健康コーラス（童謡等）、会報発行を健康と交流のため行っている。地域活動は市老連、南部老連等の各種行事への参加、公民館・大住コミセン祭りへの作品展示、踊り会の施設慰问、大住小学校へ手作り雑巾の寄贈と小学生への伝承行事教室。一円募金・歳末募金等、行事は目白押しであるが、会員の協力も積極的に集まっては笑い合い楽しんでいる。

これらの地味な活動が評価されたのか、平成十二年には優良

団体として全国表彰を、更に平成十七年には米田顧問が老く育成功労者として全国表彰の栄にょくし会員一同喜びと奮起の意を新たにしたいところである。最後に当会の特徴の一つとして、全国表彰の時に慶弔両用の会旗を作ったが、会員が逝去の際会員の殆どが出棺の見送りをすること、黒リボンの会旗を葬儀・祭壇に飾り冥福を祈っている。

今年度は学校としまして、皆様のご苦勞を少しでも軽くすることができればと、授業終了次第各学年一斉下校の形をとり、下校時間帯を集中型にしてきました。また、PTAや教師によるパトロールも強化してきました。

今年度は実施したアンケートでも、実に九五%もの保護者が子どもの安全を守る上でパトロールは役立っていると考えており、感謝の言葉が多数寄せられております。皆様の

おかげで不審者からの声掛け事案も発生しておりません。皆様の活動については、「秋田県生活環境文化部県民文化施設課 安全・安心まちづくりチーム」からも高い評価を受け、秋田市代表として活動事例発表を行うこととなりました。これも、地域の子どもたちを地域で守ってやろうという熱い思いの表れと、皆様の普段からの活動が評価を頂いたことと受け止め、大住地区の子どものための教育に携わる私共としまして、大変ありがたく感謝の気持ちでいっぱいです。「おらほのわらし」を守り育てていくために、今後ともご協力の程宜しくお願い申し上げます。

助け合いの心で

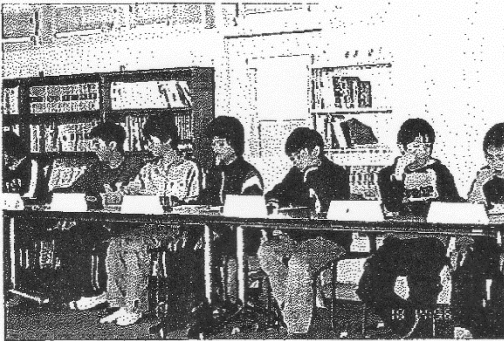
理事

小田原 里子

大住小学校ボランティア委員会の皆さんと、日頃の活動について情報交換する「福祉活動交流会」が二月一八日、開催されました。

ボランティア委員会の皆さんは、放送やポスター、手紙などで全校に協力を求め、車イス寄贈のためのプルタブ収集、授産施設「つどいの家」で活用される牛乳パック集め、公園の清掃、緑の羽根、赤い羽根募金など活発な活動をしています。

その姿からは、体の不自由な



人も、お年寄りも、地域の人みんなが、住みやすい町にしたい。そのために助け合いの心で、協力しようという気持ちを感ぜました。

社会福祉協議会も、誰もが幸せに暮らせるまちづくりのために地域の住民、他団体と力を合わせて取り組んでいる活動を紹介しました。

この交流会が福祉についての関心を高めるきっかけになり、自分たちにも出来る地域での助け合いを続けていって欲しいと思います。そして私も自分出来る活動を続けていこうという気力と元気を貰った会でした。



福祉関係者の受賞の紹介

一、高橋一征さん、秋田市功労賞を受賞

大住地区民生児童委員協議会会長で、大住地区社会福祉協議会副会長の高橋一征さんは、長年福祉に尽力した功により平成一八年七月一二日秋田市長より秋田市功労賞を受賞しました。

二、上村政憲さん、佐々木イネさん、社会福祉事業功労者表彰される

大住学区振興会会長、大住地区社会福祉協議会常任理事、民生委員協議会副会長の

上村政憲さんと民生委員の佐々木イネさんは、社会福祉事業功労者として、平成一八年一〇月二〇日秋田市社会福祉大会の席上、秋田市社協会長より表彰されました。

三、斉藤一郎さん、上村政憲さん、共同募金特別表彰される

(株) ナイス社長の斉藤一郎さん、大住学区振興会会長の上村政憲さんは、長年にわたる高額の寄付に対して、平成一八年一〇月三十一日秋田県共同募金会会長より共同募金運動六〇周年記念特別表彰を受けられました。

寄付金

一、稲庭千弥子さん(医療法人久幸会理事長、今村病院・ニコニコ苑・げんきハウス院長)から、平成一九年一月二七日の大住学区振興会新春懇話会において講演の後、謝礼一五、〇〇〇円を大住地区社協に寄付を頂戴しました。

香典返し

次のお二人から、大住地区社協に香典返しを頂戴しました。

- 一、長澤千和さん (亡夫千代寿さん) 三〇、〇〇〇円
- 二、愛川医院 愛川 肇さん (亡父重春さん) 一〇〇、〇〇〇円

大住地区老人クラブ

H19.2.1現在

老人クラブ名	会長名	住所	電話	町内会
老人クラブ松葉会	原田 昌一			西四丁目
禰田南老人クラブ	竹内 龍諾			禰田南
大住南熟年の会	廣田 敏雄			大住南
庚塚南老人クラブ	小玉 久夫			庚塚南
大住熟年の会	斉藤典四郎			大住
大住北寿老人クラブ	真田 光雄			大住北
仁井田路見クラブ	佐藤大二郎			路見町

平成18年度大住地区町内会長名簿

大住地区民生児童委員協議会名簿

H19.1.1現在

番号	町内会名	会長名	住 所	電 話	世帯数	班数	氏 名	住 所	電話番号	担当町内会
1	牛島庚塚東	三浦 初江			15	1	◎高橋 一征			東潟敷、 東潟敷南
2	庚 塚	佐藤千萬三			32	4				
3	西 若 葉	戸津 義行			95	8	○上村 政憲			仁井田潟中町、 仁井田潟中新町、 仁井田落見町
4	い な 穂	山岡緑三郎			30	4				
5	牛島西二丁目	岡部 賢悦			50	3				
6	庚 塚 南	高橋 功			82	4	○佐々木イネ			大住中央通、 仁井田緑町
7	牛島西第一	田山 健生			215	5				
8	稗 田 南	梅邑 供治			220	18	門脇 利成			仁井田西潟敷、 第二みなみ野
9	庚塚西新町	七尾 実			74	5				
10	牛 島 西 町	佐川 一男			17	1	和田 良子			牛島西、 牛島西第一
11	おたかの橋	中川 廣			215	16				みなみ野
12	三 皇 竹 原	佐藤 忠			170	13	東海林慶夫			大住団地
13	牛島西四丁目	高橋 重道			289	20	長尾 景忠			大住、落見幸町
14	清水市営住宅	櫻本 啓二			90	6	藤原 洋助			
15	牛島東潟敷	平野 貢剛			240	16	佐藤 要			大住新町、 仁井田合同宿舍、 大住南
16	牛島東潟敷南	武藤 武二			116	11				
17	大 住 南	川北 幸治			189	11				
18	大 住 北	古谷 隆保			153	15	古谷 勝江			大住北、 仁井田西潟敷北
19	大住団地	岡部 二郎			206	20				
20	大住中央通	佐々木信夫			210	16	森 加寿美			牛島庚塚東、いな穂、 庚塚、西若葉、 牛島西二丁目、 庚塚南
21	大 住	記田 正治			166	9				
22	落見幸町	鈴木 正孝			53	3				
23	大住新町	笠井 信夫			155	16				
24	仁井田住宅合同宿舍				140	15	佐藤 正三			おたかの橋、 三皇竹原
25	仁井田潟中新町	佐藤 秀朗			93	6				
26	仁井田潟中町	川口 芳松			118	8	榎 勝子			稗田南町、 庚塚西新町
27	仁井田落見町	上村 政憲			160	13				
28	仁井田緑町	工藤 仁			38	3	池田 一機			牛島西四丁目、 清水市営住宅
29	仁井田西潟敷	玉井 勝			113	8				
30	みなみ野	魚住 利明			272	19	(主任児童委員)			
31	西潟敷北	米川 康博			22	4	小松 友子			32町内全域
32	第2みなみ野	門脇 利成			162	10	小田原里子			32町内全域

各町内会長様には、当社会福祉協議会の評議員をお願いしております。

◎印 会長、○印 副会長

大住地区各種募金等納入一覧表

平成18年度会務(行事)報告

(平成18年度)

平成19年1月22日現在
大住地区社会福祉協議会

大住地区社会福祉協議会

区分 町内会名	日赤社員 社費 (円)	市社協 全戸会費 (円)	敬老会 協賛金 (円)	赤い羽根 共同募金 (円)	歳末助け 合い募金 (円)
庚塚東					
庚塚	2,500	9,720	3,000	3,000	9,700
西若葉					
いな穂	2,000	10,800	3,000	12,000	
轡語二丁目	4,000	14,760	6,000	20,000	5,000
庚塚南	27,700	30,960	8,600	47,400	5,000
牛島西第一		5,000	5,000		5,000
稗田南	28,500	65,000	15,000	74,300	10,000
庚塚西新町	13,500	23,760	6,600	26,400	3,300
牛島西町					
おたかの橋	4,500	32,400	16,000	35,130	10,000
三皇竹原		5,900	5,000	10,000	5,000
牛島西四丁目	72,800	98,640	28,600	161,250	15,000
清水市営住宅					
東潟敷		36,000	24,000	72,000	12,000
東潟敷南		41,760	10,000	30,000	10,000
大住南	12,000	45,000	18,000	48,300	6,000
大住北	7,000	36,000	14,000	45,000	5,000
大住団地				10,250	10,250
大住中央通	9,000	25,200	16,500	30,000	20,000
大住	31,000	27,000	16,600	79,750	10,100
露見幸町	21,500	19,080	5,300	26,500	2,650
大住新町					
仁井田住宅 合同宿舎					
仁井田崎中新町	7,000	9,720	9,600	28,800	5,000
仁井田崎中町		25,200	11,000	33,340	5,000
仁井田露見町	19,000	46,800	16,000	110,000	8,000
仁井田緑町			5,000	3,500	
仁井田西潟敷	7,000	4,320	10,000	15,000	5,000
みなみ野	3,000	19,000	27,100	55,400	13,600
西潟敷北町		7,920	2,200	5,700	900
第二みなみ野	3,000	36,000	10,000	15,000	12,500
小計	275,000	675,040	292,100	998,020	193,900
学校関係				31,311	0
個人・商店・企業等				80,828	7,000
小計				112,139	7,000
合計	275,000	675,040	292,100	1,110,159	200,900

実施月日	事項	摘要
H18.4.10	会計監査(平17年度下期分)	副会長他、監事2名、大住コミセン
H18.4.12	役員会	常任理事、理事、監事、レストハウス井畑
H18.4.19	日赤秋田市地区協議会	熊谷副会長、平安閣
H18.4.29	大住社協 定例評議員会	副会長他、大住コミセン
H18.5.21	大住学区振興会総会	会長、大住コミセン
H18.5.23	大住児童館運営委員会	事務局長、大住コミセン
H18.5.29	秋田市社協 評議員会	梅邑会長、秋田市社協事務所
H18.6.8	常任理事会	大住コミセン
H18.6.22	役員会	常任理事、理事、監事、大住コミセン
H18.6.16	秋田市地区社会福祉協議会連絡会 総会	会長、秋田市老人福祉センター
H18.6.16~17	秋田市地区社会福祉協議会連絡会 研修会	会長、秋田市老人福祉センター
H18.7.11	社協(健康づくり生きがいづくり支援事業)総会	会長、事務局長、秋田市老人福祉センター
H18.7.18	秋田市民生委員地区推薦準備会	熊谷副会長、事務局長、大住コミセン
H18.7.27	秋田市「高齢者セーフティ推進研修会」	会長、熊谷副会長、秋田市役所
H18.7.28	敬老会のための合同役員会	会長他、大住コミセン
H18.8.19	'05大住フェスティバル	会長他、大住ぼかぼかオレンジロード
H18.9.6	共同募金会地区会長及び事務担当者会議	会長、事務局長、老人福祉センター
H18.9.8	敬老会実行委員会	会長他、レストハウス井畑
H18.9.18	大住地区敬老会	会長他、大住コミセン
H18.9.16	大住コミセンまつり実行委員会	熊谷副会長、事務局長、大住コミセン
H18.9.25	敬老会の反省会	会長他、大住コミセン
H18.10.1	大住コミセンまつり	会長、高橋副会長、大住コミセン
H18.10.17	秋田県社会福祉大会	会長他、秋田県民会館
H18.10.18	会計監査(平成18年度上期分)	会長他、監事2名、レストハウス井畑
H18.10.20	秋田市社会福祉大会	会長他、秋田市文化会館
H18.11.1	秋田市役所と大住地区の懇談会	会長等4名、大住コミセン
H18.11.7	一人暮らし高齢者とのふれあい集会	会長他、大仙市神宮寺「獄の湯」
H18.11.24	常任理事会	大住コミセン
H18.11.28	日赤秋田市地区区分区長会議	会長、平安閣
H18.12.16	民生委員連絡協議会との合同研修会	民生委員、社協役員、レストハウス井畑
H18.12.18	大住小学校との福祉懇談会	会長等6名、大住小学校約35名
H18.12.25	役員会	常任理事、理事、監事、大住コミセン
H18.12.25	歳末助けあい募金の配分委員会	民生児童委員、社協役員
H19.1.19	「社協だより」第1回懇集会議	常任理事、レストハウス井畑
H19.1.27	大住学区振興会、新春懇話会	会長等5名、大住コミセン
H19.2.2	秋田市社協、地区社協ブロック会議、研修会	会長、事務局長、平安閣
H19.2.6	「社協だより」第2回懇集会議	常任理事、レストハウス井畑
H19.2.10	市社協Bブロック研修会	会長、事務局長
H19.2.11	伊藤富雄氏秋田市スポーツ賞受賞の祝賀会	会長、レストハウス井畑
H19.2.14	地域福祉活動合同研修会	役員全員、秋田市文化会館

※ 日赤は行政組織でなく、民間の機関です。運営費用は社員の納める社費、寄付金と国等から援助金で運営されています。災害時の給付、恵まれない人達への援助、海外の援助を必要としている人達への援助等のため、社員の増加が望まれております。ぜひ、日赤社員に多数応募してください。よろしくお願ひします。

※ 秋田市社会福祉協議会で実施している介護事業や各地区社協の実施する地域福祉事業の原資を確保するため、秋田市社協の会員(全戸会員と略称)の増加が望まれております。出費多端な折柄恐縮ですが、多くのご家庭の応募をお願ひします。

平成18年度「赤い羽根共同募金」応募名簿 (1,000円以上)

平成19年1月22日現在 順不同、敬称略

I. 学校、企業、商店等		II. 個人		
金額	応募者名	金額	町内会名	応募者名
16,512円	大住小学校	5,000円	稗田南	梅邑供治
14,799円	太陽幼稚園			上村政憲、八巻喜好
10,853円	老人クラブ松葉会			田口忠稔
10,000円	(株)ナイス	3,000円	稗田南	石塚真平、和田繁
	仕出しの坂本			牛島西四丁目 瀧中町
5,975円	大住南熟年の会	2,000円	稗田南	大黒昭子
5,000円	マイム秋田菅原店	1,390円	瀧中町	又吉美鶴
	内山内科胃腸科医院	1,000円	いな穂	相場修、岩谷忠生、大森一男、鎌田唯男、桜井恭子 堀井三男、三浦順治、柳田幸子、山岡緑三郎
	大住歯科医院			稗田南
3,000円	秋田銀行大住支店職員一同	牛島西四丁目		仙北清一、幸野義夫、幸野典子、川田正雄
	菅原家電商会			池田斉、佐藤清太郎、船木愛、鳥海久一
	すず屋衣料店			佐々木誠司、佐藤一夫、戸嶋廣志、斉藤直人
	美容室JD			渡辺悌二、米田己代治、石川重喜、菅悦郎
	富士クリーニング			船木福治、梶原好浩、穂積英典、黒川親剛
2,000円	奥寿司	東潟敷南	大住南	佐々木昭子、高橋重道、佐々木忠一、高島昭二 井濃内勝、石井千孝、菅原五郎、進藤重男
	1,000円			ウイズヘアー
1,000円	フラワー理容店	大住		小木田喜美雄、高橋一征、田中キヨ、武藤武二
	理容サニー			上神谷芳雄、大塚紀子、佐藤潔、田口圭策
	理容センス			廣田敏雄、茂呂清雄
107,139円	合計	大住		石郷岡一男、伊藤富雄、伊藤雄一、加藤昭男 熊谷忠行、小松一誠、斎藤典四郎、佐々木清 佐々木正浩、佐藤要、杉山弘美、高橋晨行 藤原富男、松井芳雄
				瀧中町
		みなみ野		佐藤司

感謝状贈呈の廃止について (お知らせ)

共同募金で、3,000円以上の寄付をしていただいた方に大住地区社協会より感謝状を贈呈してきましたが、皆様から経費を節減して募金額の上乗せを図れという意見を多く寄せられました。

社協内部で協議の結果、平成19年度から大住社協からの感謝状の贈呈をやめることとします。ご理解をお願いします。ただし、「社福協だより」への氏名の掲載は継続します。

大住児童館活動の紹介

運営委員長

高橋 重道

昨今の児童をとりまく環境はみなさまご存じの通り厳しい状況にあります。このような時に地域の保護者や住民に安全・安心を提供するのが児童館の大きな役目だと思います。

児童の利用状況は年間約二万二千人位で秋田市内で最も多い方です。児童館運営委員会の任務は、主に児童館運営に対する

地域住民の意見を聴く諮問機能的な役割と、児童館活動を推進する役割および建物・敷地の管理への協力等の役割を担うため、地域の各種団体、識者の中から十五名(市の規定)が秋田市教育委員会の委嘱を受けてその任務にあたっています。秋田市より活動謝礼(報償費)三万二千円を財源として活動しております。年間数多くの行事を行うために、大住地区社会福祉協議会とPTAから児童館サポ

ー卜団体として支援をいただき運営をしております。この他に、児童育成クラブ二十八名の皆さん、特に半数の方は自分の子供が成人になられた現在でもボランティアとしてご協力していただき感謝申し上げます。そして児童厚生員三名の方が、遊びの指導をとおして、子どもたちの健全育成をはかっています。大

住児童館はこれまでの活動が評価され平成十八年五月三十日秋田県児童館連絡協議会総会の席上「功労表彰」を受けました。地域の皆様のお陰と感謝しております。今後の課題として、地域の方々の積極的なお手伝いをお願いしたいと思います。自分の子供が巣立てば後は関係がないと言うことでなく、地域の方々の自助・共助として行政による公助が連携して安全・安心の地域づくりができるよう運営委員一同微力ですが努力したいと思います。今後とも物心両面からのご支援をお願い申し上げます。

平成18年度日赤奉仕団大住分団名簿

平成18年度大住地区社会福祉協議会名簿

H19年1月現在

職名	氏名	住所	電話番号
分団長	高橋 知子		
副分団長	鈴木 捷子		
会計	本間 貞子		
団員	舟木 エイ		
"	松山 さき		
"	樋口富美子		
"	堀尾 正子		
"	遠藤 幸子		
"	加藤 信子		
"	杉本 敬子		
"	富谷レイ子		
"	相川 弘子		
"	大山あい子		
"	佐々木昌子		
"	加藤 悦子		
"	熊谷 牧子		
"	斎藤恵美子		
"	田澤つま子		
"	斎藤 良子		
"	塚田 朋子		
"	加茂谷美保子		

職名	氏名	住所	電話番号
会長	梅邑 供治		
副会長	熊谷 忠行		
"	高橋 一征		
常任理事	上村 政憲		
"	小笠原憲一		
"	伊東 幹夫		
"	石塚 淑子		
"	藤井 雛子		
"	小松 友子		
・事務局長	田口 忠稔		
・会計	高橋 農行		
監事	高橋 重道		
"	矢嶋 友喜		
理事	川口 芳松		
"	佐々木信夫		
"	中川 廣		
"	田村 一夫		
"	小田原里子		
"	高橋 廣市		
"	藤原 洋助		
"	佐藤 要		
"	古谷 勝江		
"	森 加寿美		
"	堀尾 正子		
"	加藤 信子		

編集後記

日赤社資の募集から始まって、歳末たすけあい運動まで、町内会長さんを紹介して多くの皆様、町内会から多大のご協力を頂戴しました。大変ありがとうございました。

今年の冬は生活者としては暮らしやすくありがたい冬でした。このような年の夏はどうなるのでしょうか。地球温暖化が心配されるこの時代私達人類に出来ることはみんなで、何でも、少しでも実行していかなければならないと思

います。

団塊の世代が次々に停年退職し、一層高齢化社会が進展していくことでしょうか。この先の福祉対策を今からしっかり見据え、早めに対策を講じる必要があります。

社会の格差拡大で、困窮する人が増えるのは困ったことです。国、地方行政が負担しきれない部分を地域の相互扶助すなわち地域の福祉活動で補完していかなければならないと思います。

ますます重くなる社協の活動へ真剣に取組んでいきたいと思っておりますので、ご支援の程よろしく願っています。

(事務局長 田口忠稔)

